

十月

大東漢松原社所請松原社民保、因之檢査并
形程可也、有前、既、任、事、在、此、等、事、重、清、件、件、

外務省


3-2067

0110

信し中何是し獨り者能く便宜ヲ爲んハ
 ラズ一日本邦船航ニ宜ん諸法規施行トシ
 後一ヨ低キハツ老港ニ其の航スル也ノ本邦
 老港ヨリ航スル船航ノ便キニ生シ老港ニ
 於テ検査ヲ更ケル方便利ナル爲メ之ヲ航
 三ツ次ニ是迄長崎ニ於テ検査ヲ更ケ来リタ
 ル或本邦汽船ニ先般乗老港へヨリ検査出
 航ハ、ソノ中キ老港ニ検査ヲ更ケテントシテ
 未付キ航スルニ是ヨリ方、以テ勅令ヲ出スル
 事ハ、以テ附連ニ實施スル事ニ據テ茲ニ
 子地例
 於テ是例あり
 明治二十一年十月廿八日

在上海日本總領事館

在土梅

代理官 梅子 田村 勇 封 之 切


外務省支那汽船六次
 色分船務也支船ハ、昔般ノ船ヨリ付シタ
 ぶ成件名モ、本東流航合社ヨリ出揚也
 在土梅 梅子 田村 勇

船 檢 査 証 書

第八號

船名	澄源	船種	平水航船 <small>小形汽船</small>	航路	上海蘇州杭州間	定限		航行	拾貳ヶ月	期間	自明治三十一年九月廿九日 至同世三十二年九月廿六日	船長	高節通
定置場	大阪	噸數	拾四噸七七	所有者	大阪市北區堂島舟大工所 百廿五番地 大東汽船合資会社	汽機種類	聯成	汽罐種類	筒形	汽壓制限	百貳拾封度	右検査ヲ遂ケ航船検査法ニ依リ此證書ヲ交付ス 明治三十一年十月廿五日 在上海 大日本帝國總領事館	



5

船舶検査証書

第九號

船名 義源	船種 平水航船 汽船	航路 上海蘇州杭州間	定限 者	航行 拾貳ヶ月	期間 自明治三十一年十月八日 至三十二年十月七日	船長 官阿朋	右検査ヲ遂ケ 船舶検査法ニ依リ此 証書ヲ交付ス 明治三十一年十月廿五日 在上海	大日本帝國總領事館
大阪	拾四噸	所有 大阪市北區堂島舟大工 所百廿五番地 大東汽船合資會社	聯成	筒形	百四拾封度			

3-2067

0115

(写)

證明書

一 澄源 明治廿一年九月廿六日買受

一 義源 同年十月六日買受

右小形漁船之義ハ前頭之日附ニ於テ

孰レモ大阪大東漁船會社カ清國

人ヨリ買受ケタルコト及別紙記載之

件々相違ナキコトヲ證明ス

明治三十一年十月廿四日

在上海

總領事代理一等領事小田切萬壽之助

外務省

件名書	
一船名	義源
一定繫地	大坂
一本船名標記名	古形新船
一船ノ種類	中形汽船
一甲板層数	一
一船体ノ材料	木製
一橋ノ数	十
一船骨ノ材料	木製
一胴具ノ装置	十
一船尾ノ形状	円形
一製造地名	海軍工廠
一製造年月	一九一九年九月十九日 外務省
一造船工場ノ氏名	Barth & Co. Ltd. Singapore
一船主ノ名	大友汽船會社
一甲板最上最大長廿四尺	四十六尺八二
一内法最最大幅廿四尺	十尺二
一船室ノ於テ是甲板ヲ云	
一甲板中央ノ内板ノ深さ深廿四尺四寸一八	
一甲板下部ノ噸数	一
一船尾室	一
一四室	一
一其他ノ場所	一
一噸数	二十二噸五
一内陸否	



明治三十一年十二月十二日達濟

記録課長

浄書 複製 正原

明治三十一年十二月十二日 同 年 八月 十二日 發遣

田 日 起 草

別紙

...

通商局長

主任

送第322号

外務省官報第六

逓信次官吉市公成

大東瀛船會社所有汽船澄原及義原

の船隻を調査せしめ船隻の検査を派駐し

明治三十一年十二月十二日

外務省

儀三郎が今般在上海で船務代理を

勤め、通申出、二付附居書状を

右書状、及び通達と可為細本を送

り急し、可成り洽詢を求むべき

事と爲

以行方三七下子、宿及後ろ行、御名書添送す

但右附居書にあり、批りあり重く也



明治二十一年十二月廿七日

記録長

國史文庫

浄書 校正

明治二十一年十二月廿六日

附一年十二月廿六日接受

同 廿七日發遣

集

田島重吉

送第 6 號

左様にお留め致し、代理花 加多木友

字月廿八日付行中三七七号より大正康福

倉社所有康福池添外を被へ検査池を

下付年二月移友派班ノ候存付分金取

明治二十一年十二月廿七日

外務省

橋ノ下(改)惣ノ子進進存者ノ及後借ノ云々右

日移友派班ノ候ハ既ニ派班ノ事ニテ運下候

ル云々支割及云々候ノ減免セラレル事由地云々

祇福日移存ノ於テハ是ラ生々状況ニ立至リテ得

止中止段ノ以テ中ニ付月ニ派班ノ候ハ到底難

可計ルハ由事ニ未廿二日迄於テハ増支ノ計画ニ有リ

ル得テ右増支込分強張ニ計凡込ニ有リハ

与リ段回者ノ田島右ノ者存以テテ有本



正付本回表十ノ中

外務省

3-2067

0124

附二年十一月廿三日
主簿通海局

公信第七號

受第七一七號

通信

大東汽船合資会社新購入汽船

洪源号検査証書交付之件

洪源号検査証書交付之件

洪源号之残、案第十二月廿五日

以上大阪大東汽船合資会社、於て買

取ケ候、付テ、其船籍ヲ大阪ニ定メ

船長、清心人高阿野、機関士、岡本

黄進生ニ命シ、上海、蘇州及杭州各航

ノ用ニ供シ、後方ヲ以テ、お紙件及書ヲ添

附シ、各号履歴ヲ考査シ、此後検査ハ

別ニ、在老地ロイドニ合社在檢所ニ

在上海日本總領事館

ネ、承認ニ基キ、お紙寫シ、通一ケ、各号有効

ノ検査証書交付、後、各号有効

ノ検査証書、船籍地及船名、お紙件及書

ノ添付、付シ、件名、お紙件及書

並、各号ノ履歴、後、各号有効

ノ添付、付シ、件名、お紙件及書

在老地

總領事代理 山田 芳雄



外務省 郵政省 郵政大臣 官印

明治三十三年一月廿三日發行

記録部長

明治三十三年一月廿三日受

52
海軍省
文書課

明治三十三年一月二十日起
同 年 一月廿三日發售

通商局長

主任

第一七號

通商局長官印 外務省

海軍省文書課 係る少於汽船(乗取用)

洪源号ノ親ノ定年十二月十五日大阪大東

明治三十三年一月廿三日

外務省

汽船合資会社ノ於テ買入ケル付テ其

船籍ヲ大阪ノ定ノ船長ハ漢人高阿

男、樺岡士、日人、普進生ノ命ニ上由

蘇州及杭州ヨリ航リノ用ニ係ル事

此ノ船ハ何れモ本國船及検査ノ係

新出ルノ船長及樺岡士ノ各々體格

ヲ検査シ海軍検査ニ係ル事

同ノ下存社付付師ノシテ承認ス事

3-2067

0125

○我字ノ通一五年百有勁ノ検査証書
○其付付者、越々収在上海中國切給
○領ノ地領ノ地、越々収在上海中國切給
○少通云々也

○皇ノ社務地書種ニハ、領ノ地、証書
○ヲ付シテ件名者ヲ以テ同存地ヲ書接
○本者ノ子接社外者ノ子一越々付ル
○領ノ地也

外務省

○此トシテ、領ノ地、証書ニ付シテ、
○其字ヲ抄録ス



一箇

光緒二十二年一月二十八日

通商

一〇八三

噸數、開元件、自照會
在上海給領事、證明、係、氣船澄
源及義源、機、案室及、案組人、常
用室、噸數、終、噸數、對、除、去
噸數、下、難、認、樣、案、及、常、用、室、實
積、無、之、於、船、鑑、札、下、府、際、差
支、美、間、其、有、領、事、街、向、合、相、成、度
別、紙、證、明、書、并、件、名、書、寫、相、添、明
治、廿、五、年、第、四、号、依、り、此、段、及
照、會、候、也

明治廿二年一月廿六日

大阪府知事菊池侃二

大阪府

外務大臣子爵青木周藏殿

3-2067

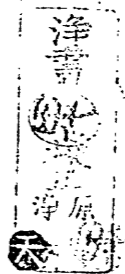
0128

記録課長

三十二二月一日受

88

明治卅二年一月三十一日 起草
同日 年 月 日 發遣



森 主任

田中 氏宛

送第

9

辨

林

左上海

少田印信館より代理託

少田印信館より代理託

申取、証的の係り、御河、証裁、汽船、源

及、茂、源、採、集、宝、及、業、理、人、常、用、宝、

別、取、証、的、係、り、御、河、証、裁、汽、船、源、

外務省

採及、常、用、宝、実、績、三、三、式、新、證、札

下、付、之、際、之、身、交、り、懸、う、字、之、段、大、坂、府

志、了、り、照、會、有、り、右、左、少、田、印、信、館

少、田、印、信、館、を、申、取、御、河、証、裁、汽、船、源、

件、在、書、寫、本、原、付、本、中、之、如、

(一) 採集、宝、三、三、式、新、證、札、係、係、付、一、

區、本、件、別、取、証、的、係、り、御、河、証、裁、汽、船、源、

採、去、願、書、之、類、五、三、四、八、分、之、外、同、年、

中、海、也

号 四五七

船舶ニ関スル件照會

2000

府下大阪市此區堂島船大工町百二十五番屋敷大東漁船台資會社ヨリ清國上海河港内ニ於テ候用セル漁船洪源丸ヲ今回清國人延安ヨリ買受件名書ニ上海総領事ノ証明ヲ得テ當府船籍ニ編入、上船鑑札下付、義積額出候ニ付調査スル件名書中機業室、噸數五噸六噸兼組人常用空噸數七噸九噸船舶積量測度規則ニ照シ除去噸數ト認シ難ク或、其実積ニアラサルヤ尙モ有之船鑑札下付之際シテ差支候間一應其旨上海総領事ニ御問合相成度別紙件名書并証明書寫相添此段及御照會候也

明治廿二年二月十五日

大阪府

明治廿二年二月十五日
大阪府知事菊池侃二

外務大臣子爵青木周藏殿

明治廿二年二月一八日起算
同 二月廿六日發遣

記録書

二月廿六日

藤原

田中重吉

一七 林

左席 小田切隆徳子代理

加藤次友

半友ノ証明ノ係ル事成証載ノ流形供添名ノ

積

榊原宝及兼理人幸用宝ノ噸敷ハ應敷

對スル除去噸敷トハ發認或ハ其実績ニテ

用二年二月廿五日開帳課受

外務省

廿九日福徳札下付ニ際シ是等ノ趣ヲ以テ

ト般大坂府令子ヲ照會有クモ存心所

御ノ上至急以同致有キ本年交ハ成福徳札下

付行書分ニ通テ庶付事ナラズ也

追々本件ト同一事案トシ本月ニ付送

才九号ヲ以テトシテ外有キ事存

以テ照會事案トシテ外有キ事存

(照會事案、付行書分ナラズ)

明治二十二年二月廿三日 官信

望 大及之山

第五の號

受領式

本月六日附送第九號ヲ以テ大東
 汽船会社所屬汽船澄源及義源ノ
 噸數ニ關シ大政府知事ヨリ照
 會有之候旨ヲ以テ法務部致之執
 了取致候右積量ニ関シ官館ニ於
 テ適當ナル測法手續ヲ施行スル
 一、曩ニ及具申ハ通噸ノ困難ノ
 事情有之候ニ付不始已候船カ電テ
 當國々籍ニ屬セシ當時當地稅関
 ニ於テ積量シタル噸數ニ對シ更ニ
 コイドレ會社ノ船船技師ヲシテ認
 認セシメ番館ニ之ニ據リテ証明
 付シタル次第ニ有之候者其總
 噸數算出方ニ於テモ自ラ本邦
 船積量測法方法ニ適合セサル
 處モ有之ヘキト被存也館ハ豫ラ
 影ル疑問ノ生セシテ恐レ候船測
 法、必要アリシ際船司檢官、滋
 駐シ察視シタル次第ニ候可
 情、既ニ其測法ノ方法ニ於
 テ精確ニ本邦測法規程ニ準
 據シタルモノニアラサルカ如ク積
 量測法規則第七條及第八條ノ手
 續ヲモ履行シタルモノニ候之候
 令其根本タル測法方法ヲ異ニスル

毛尚ホ強テ拓第七條及第ハ條ヲ適
 用スヘキ必要アリトセ、尙假、証明
 シ与ヘタル証証件名書記載之實
 積ナル概圖宅及乘組人考用宅、
 候、是ニ就キ可成、算出ノ方法ヲ執
 ラレ、仍、探取、改、要スルニ當假、
 証明シ与ヘタル件名書記載、總候
 考、是ニ對スル除去候、概圖宅及乘
 組人考用宅ノ實積ニシテ、能積量
 測、取、規則、第七八條ノ規程ニ準據
 シタル、除去候、數ニ氣之、候、名、
 申、了、知、出、成、大、改、府、知、子、ハ、
 候、回、
 扱、方、ウ、能、リ、氣、計、
 申、了、知、出、成、大、改、府、知、子、ハ、
 候、回、
 扱、方、ウ、能、リ、氣、計、

在上海日本總領事館

各考及西條新例あり

明治三十二年二月十日

在上海

總領事代理一管領了當切系封之



外務省及都府警六殿

改訂
録

記録録長

三月一日受

浄書
校正
原

明治廿二年二月二十日
同日三月三日
同

主任

田中
林

大坂府奉行
田中

一月廿二日分
二月二日分
三月二日分

及我源、様、算、室、及、業、理、人、常、用、室、係、去

州、敷、ノ、係、之、算、之、出、入、金、之、趣、了、算、水、在、封、シ

外務省

と、役、立、上、海、水、田、切、陸、路、了、り、代、理、了、り、取、得、官、通

中、城、以、為、未、知、の、在、り、し、り、上、之、出、入、金、計

取、得、官、取、得、官、古、原、氏、及、回、答、也

(お、取、得、官、取、得、官、取、得、官、取、得、官)

3-2067

0134

明治廿二年三月十七日

三月十五日

89

浄書

明治廿二年三月十一日起
同 八月十七日發遣

主任

田代 子

大坂府奉行宛

田代 子

本月三月廿五日申一七〇号より以テ濠洲行源

供係ノ様算定及兼取人常用定除

去月及ノ様算定ノ趣了る候在

外務省

及ノ様算定ノ趣了る候在

件ト同一ノ理由ニ依リ所算積量ニ別支款到

才七条及才八条ノ除否方法ニ據リタレモニ各

之全ク様算定及兼取人常用定ノ算積

別取ラ揚ケタレモノ趣了る候在

上ノ趣了る候在

同ノ趣了る候在

同ノ趣了る候在

3-2067

0135